

今日を、エシカルの1日目にしよう!

食品ロス、地産地消、フェアトレード
難しく聞こえるかもしれないけれど、
実は身近なところに「エシカル」は溢れています。
少し意識をシフトするだけで、今日の自分と、
明日の世界をもっと魅力的に変えることができる。
それがエシカル消費です。

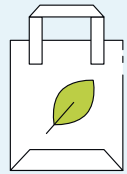


エシカル
[ethical]

「倫理的な」という意味の英単語。
人や社会・地域・環境に配慮した
消費行動を「エシカル消費」といいます。

身近なエシカル消費の例

できることから、DAY1を始めよう!



エコバッグを使う



買いすぎない、
使いすぎない



フェアトレードマークの
ある商品を選ぶ
(服・食べ物など)



被災地の商品を買う、
障がいのある方の
社会参加につながる
商品を買う



家にある食材を
確認して食品ロスを
なくす

明日は ETHICAL DAY.2 あなたは何を始めますか?

仙台市消費生活センター information

消費生活センターでは、消費生活についての相談を受けるとともに、くらしに役立つ情報を提供しています。

●消費生活相談

契約トラブルや悪質商法、多重債務など消費生活に関する相談を受け付けています。

仙台市消費生活相談ダイヤル

022-268-7867 (なやむな)

消費者ホットライン

188 (いやや) 局番不要

●くらしの情報提供

消費生活に関する知識など、くらしに役立つ情報をホームページでお知らせ。講座も開催しています。

●公正で安全・安心な取引の確保

正しく表示や計量がされているか、店舗等への調査や指導を行っています。

仙台市消費生活センター

〒980-8555
仙台市青葉区一番町4丁目11番1号
141ビル(三越定禅寺通り館)5階
TEL 022-268-7040
FAX 022-268-8309

HPはこちら



エシカル消費イベント エシカル デイワン

ETHICAL DAY.1

イイ毎日を、身につけよう。

食べるもの、身につけるもの、使うもの。
私たちの毎日は「消費」から生まれているから。
その積み重ねをより良く、面白く、かっこよく。
未来につながる毎日に。
エシカル消費を始めている人も、これから始める人も、
さまざまなゲストをお迎えして
お送りするライブ&トークイベントで、
今日をDAY.1(1日目)にするための気付きを
一緒に探してみませんか。



2023.12.7 TH OPEN 18:00 START 18:30

会場 せんだいメディアテーク 1Fオープンスクエア



これから始める! DAY 0 Team



ほやアイドル 萌江 ライブパフォーマンスも!

宮城県石巻市在住シンガーソングライター
ホヤをイメージした髪型や衣装を身にまとい歌でホヤのPR
をしている!県内数々の自治体や企業と多数コラボ。



宮城のらむちゃん

インフルエンサー
食や観光地の魅力を発信する傍ら、情報発信について企業
や自治体にティーチングも行っている。



渡辺 花

宮城県在住のローカルタレント/モデル
2013年より芸能活動開始。仙台放送の人気番組「あらあら
かしこ」レギュラー出演中。テレビ以外にもCM、ファッション
ショー、雑誌、イベントなど多数出演。

プログラム

ほやアイドル 萌江オープニングライブ

トークセッション第1部
エシカル消費ってなに?

TEA&THINGSの紅茶試飲

トークセッション第2部
はじめてみよう!エシカル消費

イベントフィナーレ 萌江ライブ



司会・進行 早坂 明子

宮城県仙台市在住。料理研究家。キッチンスタジオ
倶楽主宰。仙台市ごみ減量事業「モッタイナイ
キッチンチームMK」のメンバーとして、余った食材
や普段、処分する野菜の皮などを使用したオリジナルメニューを考案。
フードロスや地産地消にも見識があり、包丁とマイクの二刀流で活躍中。



渡邊 千恵子
尚絅学院大学教授

「仙台をフェアトレードタウンにしたい」と目標を掲げ、学生たちと様々なプロジェクトに取り組んでいる。

渡邊 千恵子さんの取り組み

人文社会学類の渡邊ゼミでは、自分たちの暮らしと世界とのつながりをしっかり考え、消費という行動を通して持続可能な社会をつくっていきたいと考えています。エシカルの本質について自ら考え、行動することをモットーに様々な取り組みを実践しています。

例えば、世界中で愛される「チョコレート」。これも、生産の現場で子どもが過酷な環境で労働しているケースの多い商品です。渡邊ゼミでは、イベントに出展してチョコレートとフェアトレードに関するパネル展示を行ったり、世界の子どもを児童労働から守るNGOへの募金活動をしています。



学生出展ブース

宮城大学食産業学群学生が協力して作ったエシカルなお菓子 オリジナルスイーツでエシカル消費を推進!

食を通じた持続可能な地域づくりを目指す宮城大学の作田研究室では、障害のある方が働く事業所「ポッケの森」や地域の方々と商品開発などを行っています。「ポッケの森」を利用される方の工賃アップにつながるスイーツの開発や、子どもたちとのワークショップなどのイベントが、誰一人取り残さない社会の実現に貢献します。



ファッション文化専門学校DOREME
DOREME INSTITUTE OF FASHION AND CULTURE

リユースファッション展示 リユースファッションの魅力を感じよう!

ファッションを学ぶ学生が、古着のリメイクを通じてものを大切にするエシカルな考えを広めています。廃棄されるはずの古着も、リメイクすれば再び価値のある商品に生まれ変わります。ファッション文化専門学校DOREMEではそんなリユースファッションを活用したファッションショーに参加し、エシカルなアクションをサポートしています。



小口 潤
株式会社Connec.t代表取締役

地域の特産品を使ったクラフトジンの販売を通してフードロスの削減に挑むブランド「YORI」などを展開。

小口 潤さんの取り組み

地域によって気候の特性が違う日本では、その場所ごとに多様な地域の特産品や、その場所でしか作れない素材がたくさんあります。ところが、なかなかうまく活用できていない場所や、結果としてフードロスや地域の諸問題を引き起こしている側面も。

YORIは、そんな地域に眠る素材を原料としたボタニカルなジンなどを製造・販売するブランド。利活用されていない素材を生まれ変わらせ、素材の購入や製造の委託を通じて、地域経済の循環を図ることで、地域の様々な問題を解決に導いています。



TEA&THINGSプロジェクト 学生チーム

福島県で、廃棄される規格外のフルーツなどを使った紅茶づくりを行うなど、自然と共生する持続可能なプロダクトづくりを行う。

TEA&THINGSプロジェクトの取り組み

スーパーなど、普段皆さんが果物や野菜を手にする場所に並ぶのは、傷などがなく見栄えのいい商品です。しかし、傷や見た目の悪さから市場に回すことのできない「規格外」の商品が生まれていることはご存知でしょうか。

TEA&THINGSでは、そんな規格外のフルーツを原料に、福島大学の学生を中心としたプロジェクトチームがつくる自家栽培ハーブと共にハーブティーにして販売しています。捨てられるはずだった食べ物が、こうして生まれ変わり多くの人に新しい形で楽しめることも、エシカルな活動の一つです。

